

社会福祉法人 あいのわ福祉会

あかしあ

AKASHIA

- 発行者 社会福祉法人あいのわ福祉会 理事長 岸本美恵子
- 連絡先 〒121-0012 東京都足立区青井4-30-5
電話 03(3849)1188
FAX 03(3849)7001
- 印刷足立区大谷田就労支援センター
法人ニュース「あかしあ」隔月25日発行

平成24年度第3回評議員会・理事会報告

平成24年度足立区総合防災訓練 「第一次避難所《福祉避難所》対応訓練」報告

・開催日 平成24年11月27日（火）

評議員会 16時～17時10分

理事会 17時20分～17時55分

・場所 東京マリアージュ5階会議室

・報告事項

- ①指定特定相談支援事業の開始について
- ②竹の塚あかしあの杜における虐待事案発生に関する事故報告書について

・議案

第1号議案 平成24年度上半期事業報告（案）・決算報告（案）について

第2号議案 平成24年度第1次補正予算について

第3号議案 平成24年度決算前処理について

第4号議案 綾瀬ハウス改修工事の指名競争入札・参加業者の選定について

平成24年度上半期の各事業所の事業報告（案）・決算報告（案）について

並びに前記議案についてご審議をいただき、全ての議案が原案通り承認されました。

今年度 各事業所の施設祭りは2年振りに復活し、お隣の神明住区まつりと同時開催させていただいた「イーストウエーブフェスティバル」を締めくくりとして、全施設の施設祭りを終了することができました。多くの皆さまにお足をお運びいただきまして、本当にありがとうございました。

本年も残すところ僅かとなりましたが、あいのわ福祉会は来年度後半に創立20周年を迎えます。今までの道のりを振り返り、職員と共にこれからの方人の進むべき方向性をしっかりと見極めていきたいと思います。

本年賜りましたご支援ご指導に感謝申し上げますとともに、明年もよろしくお願ひ申し上げます。

11月11日（日）、第一次避難所の小中学校9か所、第二次避難所の障がい者施設等6か所、舍人公園、北千住駅、生物園等々、足立区全域で震災を想定した大規模な避難訓練が実施されました。

足立あかしあ園での避難訓練は、障がいを持つ方が第一次避難所の小学校からの移動、自宅から直接第二次避難所の園に避難して来るとの想定で、足立区としても初めての訓練でした。訓練参加者は利用者・家族、城北特別支援学校生徒・家族、足立区、法人関係者合わせて41名で実施しました。

最初に建物の損壊状況を確認し、避難所として安全かどうかを判断の上、午前9時に第一次避難所を開設しました。直ちに防災服姿の足立区職員を中心に、簡易ベット、プライバートテント、簡易トイレ、発電機での照明等々を設置し、避難所の環境を整えました。午前10時には「高齢者疑似体験」の装具を着けた車椅子利用の避難者がリフト付き車両で到着しました。直接、ご自宅から徒歩で避難されてきた方々も順次到着し、受付で避難者名簿に記載し一息つきました。

10時30分には、足立区長はじめ関係部長、危機管理室長の方々が視察され、参加者に日頃の様子、震災時に想定されること、その準備状況等について丁寧に聞き取りをしていただきました。11時過ぎには足立消防署の方々も駆けつけ、「AED」を使った救命講習を行いました。

法人としては、緊急連絡網、防災連絡無線、事業所間の職員協力体制等々、BCP（事業継続計画）の実施体制の整備に取り組んできましたが、今回の訓練で新たな課題も発見されました。今後も関係機関等々と連携しながら、法人一体の体制整備に努めてまいりたいと思いま

(今野)





「社会福祉法人佛子園」見学研修報告

石川県にある社会福祉法人佛子園が、社会福祉法人としては異例なくらい幅広いジャンルに事業展開していると聞き一度は見学してみたいと思つていましたが、機会を得て平成24年11月1日から3日まで、佛子園が経営している8か所の施設を見て回った。今日は5名の職員が参加し、全員が大きな刺激を受けて戻ってきた。

まず皆が驚いたのは、どの施設についても職員の皆さんのが、異口同音のように理事長の思いを共有していることに先ずは疑いすら感じた。そして、あらゆることに対して事業として可能性があることを自由に提案できる仕組みがあつた。勿論、ヒヤリングや厳しい審査があるのは当然ながら、自由な発想からの若い人の意見に耳を傾ける、すなわち傾聴してもらえることから、いろいろな事業展開ができている。審査が通つた暁には、提案書を出した人物がその事業の責任者に任命され、年齢や経験などに関係なく全権を委任することであった。一般的に考えればどんでもないことなのだ。

事業展開については、どうやら同じ形態の施設を2つは作らないといふ。異なる事業が連携・協働することで、障がい者ができる隙間産業を意図

的に作り出しているようだ。

「太陽のように明るく、雑草のように強くたましい」が佛子園の理念であり、三草二木という四字で理念のすべてを言い表している。その意味を知りこれは凄いと強く思った。(横内)

■ 視察先

◆ 美川37(みんな)Cafe ◆

施設形態…就労継続支援A型20名
事業…待合室の機能を持つたカフェ・建物管理清掃

特徴…JR美川駅の駅舎を指定管理を受け、待合室・ギャラリー機能を持つたカフェで地域の方の交流の場を作る。



◆ 西圓寺 ◆

施設形態…就労継続支援B型20名
事業…温泉・地域コミュニティセンター・カフェ・酒場・ライブ・法人の商品販売・地域の方とのワークシエア(漬け物作り・浴室清掃)・漬け物製造・専門講師による講座



◆ 星ヶ丘牧場 ◆

施設形態…入所施設30名・生活介護6名・就労移行支援6名・就労継続支援B型20名

事業…高齢者および障がい者配食サービス・水耕栽培設備を導入した野菜の栽培・請負事業・ひげ張魯肉飯セントラルキッチン

施設形態…児童デイ15名・居宅介護・日中一時支援・移動支援・就労継続支援B型10名

事業…屋外活動・遊具の整備・カフェ



◆ キッズベランダBe ◆

施設形態…児童デイ15名・居宅介護・日中一時支援・移動支援・就労継続支援B型10名

事業…スタジオ・カフェ・陶芸・パン工房

◆ ヒゲ張魯肉飯 ◆

施設形態…就労継続支援B型20名
事業…台湾の料理店と契約しフランチャイズ店舗を2店経営

◆ むじん蔵 ◆

施設形態…就労移行支援6名
事業…カフェ・シフォンケーキ製造・清掃

◆日本海俱乐部◆◆日本海俱乐部部◆◆

ファーム◆

施設形態・入所施設50名・就労継続支援B型20名・生活介護40名・就労継続支援B型14名・就労移行支援6名

事業・ビル作り、レストラン、動物の世話、清掃



平成25年度オープン予定で、1万坪の土地に就労移行、就労継続支援A・B型、生活介護、高齢者デイ、児童デイ、障がい者用住宅、学生住宅等の町作りが進行中。

(酒井)

◆Share金沢◆

平成25年度オープン予定で、1万坪の土地に就労移行、就労継続支援A・B型、生活介護、高齢者デイ、児童デイ、障がい者用住宅、学生住宅等の町作りが進行中。

（神田）

■理念・方針

一番強く感じたことは、日常活動のあらゆる場面で、経営理念・組織が目指すものがはつきりと意識されているということだった。全員が同じ方向を目指すことが組織の力となり、利用者・ご家族・地域へと繋がっていることを痛感した。

佛子園が掲げる経営理念『P-LVS V-TRA』(プラス ウルトラ)は、ラテン語で「更なる前進」を意味し、枠に捉われない新しいスタイルの施設への模索、地域との一体化、人(職員)の人としての育成など、全ての場面で理念の追求が徹底された。また、どの職員からも自分たちが目指す先が活き活きと語られ、それが行動力となり、実現化していることを感じさせられた。目指すものが形となり、利用者・地域・法人の繋がりが実現している。

（金井）

■育成・研修

法人のコンセプトは現場の職員の「やる気」をいかに引き出すかであり、その理念の下に研修システムが確立されていた。

育成プログラムは、事業所の異なる新人と先輩がパートナーシップを組み、言いやすい環境づくりや客観的な視点からの気づきを狙いに展開している。また、行事などの企画については新人の役割として位置づけ、「創意工夫と発想」を活かし、企画を最後までやり遂げる「責任力」を身につけ、日々実践のなかで役割を果たすこととしている。事業運営に責任を持ついくつかの専門部会を持ち、育成機能の役割も担つた様々な事業の展開に繋がっていた。

印象に残った言葉は、職員は「仕事は大変だけどやりがいがあつて楽しいです。」と全員が言葉に出し、経営側は「私たちは職員のモチベーションを如何に高めるか常に考えていました。」と話してくれました。

法人理念の下に全ての職員が同じ方向を向き、平等の機会を与えるられることで、創意工夫と発想を活かした事業展開や利用者支援、地域との関わりに繋がっていることを強く感じた。

■地域づくり

荒廃した寺を人々の繋がりを再構築する社会資源として再利用し、コミュニティを作り上げてしまおうという発想、それが西圓寺のサービスです。

具体的には、温泉運営を核に「ミニユーニティーセンターを設けることで、多くの人々が気軽に交流の場となる。そこは高齢者デイサービス、障がい者生活介護、という福祉サービスの拠点でもあり、地域の皆さんのがんばり、地域の皆さんと一緒に、街づくりに貢献し、住民サービスや福祉サービスに従事する。

お互いがお互いの為に働き、必要なサービスを利用する…人々が直につながり支え合う「コミュニティー」が存在し、それをプロデュースしているのが佛子園でした。

佛子園の発想、実践、スピード感はとても新鮮で刺激的です。既存の枠にとらわれず、時代の一いつや新しいスタイルを追求した画期的な事業展開に、今後の当法人の運営及び事業展開に大きなヒントを得ることができた。あいのわオリジナルスタイルで展開できるものはないか模索してみたい。

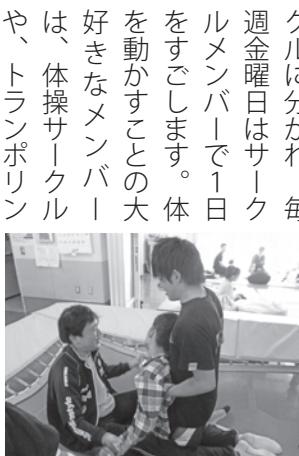
（小山）

足立あかしあ園だより

日に日に寒くなり、冬が近づいてきていますね。温かい物が恋しくなつてきました!

さて、足立あかしあ園では、10月14日に「第17回ふれあいフェスティバル」を行いました。今年度は「スマイル!サンサン!~えがおいっぱい・げんきいっぱい~」がテーマ。当団は利用者さんのたくさんの笑顔の写真を大きなハート型にした看板と、近隣の小学校のみなさんが描いてくれた笑顔の絵でメインステージを飾りました。利用者さんや、地域のみなさんの思いが詰まった素敵なステージになりました。テー

マ通りに笑顔いっぱいの楽しい1日になりました。また、当日の運営ではボランティアの皆様や地域の方々のご協力があり、今年度も盛大に開催することを、心からお礼申し上げます。



10月21日にはタートルマラソンがあり、足立あかしあ園からも数名の利用者が参加されました。5kmコースや10kmコースに参加され、皆さん完走!!翌日には、少し焼けた肌とキラキラの笑顔で「完走したよ!」と嬉しそうに報告してくれる姿がありました。さっそく来年のタートルマラソンに向けての意気込みも聞こえてきます!!

今年も残り僅かですね。忘年会に向け、利用者さんの行事担当が動き出しています。また皆で笑顔いっぱいの楽しい1日にしていきます!(内田)

綾瀬あかしあ園だより

綾瀬あかしあ園では、10月よりサークル活動が開始しました。今年度から新しく取り入れたサークル活動は、上半期に利用者さん全員が4つのサークルを体験されて、所属サークルを決めています。

グループの垣根を越えて4つのサークルに分かれ、毎週金曜日はサークルメンバーで1日を過ごします。体を動かすことの大好きなメンバーは、体操サークルや、トランポリン

サークル。創作意欲のある方々は、美術サークル、そして男性利用者にも人気のある華道サークルの4つとなっています。

各サークルごとに講師をお招きし、様々な活動をしています。



体操サークルでは、ストレッチを中心に行なって、トランポリンサークルは、楽しみながら体を鍛え、美術サークルは、年賀状作りを始めています。華道サークルでは、毎回季節の花をアレンジメントして施設の入り口に飾り、来園者を楽しませています。

これを重ねるごとに笑顔が増え、グループ活動とは違う仲間意識が芽生えてくるよう、支援員一同努力しています。(清水)

竹の塚あかしあの杜きずな (生活介護入所)だより

早いもので秋も深まり、1年も残りわずかとなつてきました。みなさまいかがお過ごしでしょうか。

きずなでは、10月16日、17日に2年ぶりの1泊旅行に行つてきました。宿泊先は新潟県湯沢町。越後湯沢駅の目と鼻の先にあるホテルです。

1日目は群馬県「クローネンベルク・ドイツ村」で、バイキングとアイ



スを作りを楽しみました。自分で作つたアイスはとてもおいしかったようでした。ホテルに到着するや否や、さっそく温泉に。貸切り風呂ということもあって、みんなくつろいで過ごすことができたようです。夜は豪華な夕食を食べながらの宴会で、カラオケにお酒に盛り上がっていました。

2日目は群馬県

「原田農園」にてリンゴ狩りを行いました。自分で取つたリンゴをその場でカットしてもらい、取りたてのおいしさを満喫していました。昼食

後にパフェづくりも体験し(なんだか食べてばかりですが...)、お腹いっぱい樂しさいっぱいの2日間でした!

この記事が出るころには、ちょうど2班目の「ディズニー旅行」も行われていることでしょう。旅行先でのお土産話期待していますね!

これからますます寒くなつてきますので、みなさま体調管理には十分注意してお過ごしください。

(片桐)

竹の塚あかしあの杜のぞみ
(生活介護通所) だより

トである旅行がありました。

作業グループは、9月27日～28日で羽田空港と横浜（カツプラーメンミュージアム）に行きました。

A collage of three black and white photographs. The left photo shows a person in a wheelchair on a ramp. The middle photo shows a man in a tank top pushing a stroller. The right photo shows a group of people, including children, standing near a building.



大谷田就労支援センター
大谷田ホームだより

サンタが走る。スパイダーマンが走る。亀が走る。メイドさんが駆け抜け
る。魚が歩く。

そして、車いすが走る・・

10月21日、日曜日、快晴、気温26度、場所は荒川河川敷。今年も行つてきましたタートルマラソン大会

ヘ・・・。正式名称は、第41回タートル
マラソン国際大会 in 足立兼第15回バ

保護者会お手製の
おでん・おにぎり
(綾瀬あかしあ園)
利用者さんのお父



リアフリータートルマラソン大会になります。

さん作） 美味しかつたです。
ありがとうございました。

後日、完走証が届いていたのはずです。前回より記録が良くなつた人、イマイチだった人。初めての完走証を手にして、次回に燃える人。それぞれに

亀の歩みはゆっくりだけれど、コツコツと歩き続ければ、ウサギにも負けないはずだ！

そんな昔話があつたなうと思いながら、秋の夜長にひとりビールで乾杯しています。

神明福祉園だより

9月10月は旅行シーズン。神明福祉園では3つのグループに分かれて旅行に行つてきました。今年も天気に恵まれ、1人ひとりが楽しめたと思います。

1回目は日帰り「イズーランド」。

途中、フィナイ
ナ選手に颯爽と追
い越されてしまい
ましたが・・・。
やつぱり速いです
ね。

不

「ゴールの先に待つて いるのは、保護者会お手製のおでん・おにぎり（綾瀬あかしあ園）利用者さんのお父



ンでは満面の笑みを浮かべて乗った
り、限定のお土産など買ってきまし
た。



呂に入つてのくびり過ごしました。そして宴会ではカラオケタイム！皆さんが楽しみにしているイベント。今年も盛り上がりました。

最後に伊香保旅行。自動車とおもちゃの博物館・グリーン牧場でバタ一作り体験をしたり、水沢うどんやキノコご飯など郷土料理がおいしかったです。みんな残さず、食べました。



くりを目指して取り組んでいきたいと思います。
(金井)

神明デイサービスセンター だより

すっかり気温が下がり、秋から冬へ移り変わる兆しが、みえてまいりました。

11月11日(日)にはEWFが開催され、デイサービスは、各講習会の発表をしました。

音楽講習会は、ホールイベントのトップバッターで、初めは緊張していましたが、お揃いの桜模様はっぴを着て、力強い太鼓やしつとりとしたベルの演奏などを見事に演奏して下さいました。

気功講習会は、先生の後ろに並んで、全員でゆっくりと息を吸ったり、吐いたりしながら、気を整えて、動きに合わせ、会場にいた多くのお客様も、一緒に動いて下さいました。

来年度はどのよつた旅行になるか。利用者の方・ご家族の方と相談しながら、また楽しい旅行を作つていきたいと思っています。NAKAMAの会をはじめとするボランティアの皆様ありがとうございました。

また、神明福祉園では、防災についての取り組みを強化しています。救命処置をはじめ避難の想定訓練など、より複雑な状況を設定して、万が一の時に備えています。これからも、利用者の方が安全で安心して過ごせる施設づ

くりを目指して取り組んでいきたいと思います。
(金井)

ぶりの中、華麗な踊りを披露して下さいました。

デイの控え室横では、陶芸や絵手紙を展示。力作が揃いました。

また、今年も復興支援をという事で、皆さんのが持ち寄った商品で、バザー「我楽多市」を行い、これも大盛況で締めくくれたので、売上は「みどりの募金」に寄付し、植樹に充ててもらう事にしています。

今年は、「ひかりちゃん祭り」という事で、デイでは、午後の自主活動を中心 이용자さんと、立体的な張り子人形や飾りを作成しました。中には、陶芸でひかりちゃんの絵が入ったプレートを作つてくれた方もいらっしゃいました。

今では、部屋の出入口や窓辺で「ひかりちゃん」が笑顔でデイを見守つてくれています。
(白井)

神明福祉作業所だより

益子焼きの湯呑み絵付け体験では、絵を描いたり・好きな言葉を書いたり自分だけの湯呑みができ貴重な体験になりました。

ホタルは、温泉・料理なども良く部屋からの眺めも素晴らしいかったです。

2日目は、わくわく科学ランドと森永製菓工場見学です。

神明福祉作業所は、9月6・7日で1泊2日『工場見学＆梨狩りと絵付け体験』那須高原リゾート那須温泉の旅宿泊旅行



わくわく科学ランドは、科学の実験や体験をすることが出来ます。目の錯覚や電気の実

に行つて來ました。当日は晴天に恵まれ、69名の大人数。トイレ付バス2台を貸し切り出発となりました。

最初の目的地は、芳賀町の梨狩りです。梨2個お持ち帰りと食べ放題の試食に大満足。



験には驚かされました。

今回の旅行で、皆様が楽しみにされていたのが森永製菓工場見学です。お菓子が作られる工程は感動しました。

昨年は、震災の影響で宿泊旅行が中止されましたので、2年振りに利用者の皆様・職員共にとても楽しめた思い出の多い宿泊旅行となりました。

(河瀬)

グループホームオーナだより

今年も色々とお力添えをいただき、今年も色々とお力添えをいただき、

ありがとうございました。皆様が健康で充実ある素敵なお年になりますように、そして新年もどうぞ宜しくお願い致します。

(永山)

あいのわ支援センターだより

朝夕はひときわ冷え込むようになりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、谷中ハウス（ケアホーム）では、ご利用者様の誕生日にあわせてお誕生日会を行っています。毎回、誕生日を迎える利用者様の希望を聞きながら、調理の内容等を決めていきます。

10月は秋にぴったりのさつまいもを使ったスイートポテトを作りました。

さつまいもをつぶしたり、好きな形に丸めたり、味見をしてみたり、

トースターの中を覗いてみたりと皆様それぞれ楽しそうに参加されていました。

調理を終えた

後は、2階と3階合同の昼食会です。誕生日の歌を皆で歌い、乾杯をして、お



祝いをしました。職員からのバースデイカードのプレゼントもあり、主役のご利用者様に喜んでいただけたようでした。その後、4月から谷中ハウスで撮った写真を見ながら、「こんな事をやったね」「またやりたいなあ」など、皆様と思い出話をしました。今後も皆様との谷中ハウスでの楽しい思い出ができるよう、ご利用者様の希望を聞きながら、催し物を開催していきたいと思います。

(内田)

社会福祉法人あいのわ福祉会 職員研修プログラム

今年度11月から、職員研修を行う予定になっています。この研修は厚生労働省の助成を受けて行うものですが、以下の目的で実施します。

これらのこと踏まえ、研修内容は、準備段階から各事業所の研修担当者が集まり、外部コンサルタントと共に研修内容の検討や、具体的な項目の検討を行ってきました。リスクマネジメント、コミュニケーション、コンプライアンス、個別支援、コーチング、リーダーの役割、対人支援技術などがあります。内容も多岐にわたっており、幅広い学習が必要になります。職員の方一人ひとりが、多くのことを吸収して現場の実践や教育・指導に活かし、より良い利用者ニーズの実現に貢献できるように期待しています。職員研修プロジェクトでは今回の研究成果を踏まえ、法人全体の研修体制の構築を図り、自らが学びやすく・働きやすい仕組み作りに取り組んでいきたいと思います。職員の皆さんとの理解と協力の程よろしくお願ひいたします。(酒井)

投稿欄

(俳句・川柳など募集中です)

今朝晴れて 柿の色づき 妻と見る
恙無く 百一歳の人生を 義母は終りて 安らかに逝く 佐々木きよ子
この一句

花を愛で 実を愛で今日の 林檎もぐ

龜村 慶子

林檎畠の近くには清らかな小川が流れ、遠くには雄大な山々が連なっている。春には可憐な白い花が咲き、秋には艶やかで甘酸い実がたわわになる。

私は小学生の頃、林檎畠の片隅に約一年間住んでいたので、この句の通りの体験を致しました。好感の持てるいい句である。(秋山)

後援会だより (平成24年9月~10月) 敬称略、順不同

◇特別会員 (1口1万円)
羽住 奎、羽住爽恵
◇一般会員 (1口3千円~5千円)
平沢清壽

◇寄付者
西村文雄、渡辺和彦

★今年も多くの方々の後援会へのご加入、ご寄付、誠に有り難うございました。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

●竹の塚あかしあの杜「なごみ」・谷中支援センター
短期入所事業利用状況 (平成24年9月~10月)
利用人数 201名
延べ利用日数 872泊
内児童 13名
41泊

編集後記

今年もあつという間に12月を迎えました。一年が経過するのは本当に早いものです。特に、平成17年からの障害者自立支援法の改正が矢継ぎ早に行われ、いよいよ来年度には障害者総合支援法が施行されます。日本のGNPやGDPが低下し、高齢化がより一層進む中での経済状況と国民生活がより困窮化する傾向にあり、今後の日本を背負う若者が減少し、一人あたりの税負担額が増す中で、日本は一体どこに着地するのでしょうか。大きな疑問にぶつかっています。既にヨーロッパでは幾つもの国が経済破綻を迎え、更に増える傾向は、全世界的不況の時代に入ってしまったのであろうとしか考えられません。併せて、領有権問題については、中国、韓国、日本の三国がとても気まずい関係になっています。

このような不透明な世相の中ですが、私たちの法人は間もなく20周年を迎えようとしています。ここに集う利用者とそのご家族に満足していただけるサービスの提供と、働く職員の生活保障の両面が上手くマッチしていくことが求められます。また、組織が大きくなるにつれて、より多くの方の考えに真摯に耳を傾けていかなければなりません。繰り返す歴史を顧みて、今、何を大切にするべきかを真剣に考えてみたいと思います。(横内)



●後援会加入のおねがい●
当法人の事業及び運営施設の発展を願い、財政的な援助をしていくことを主として後援会活動を行っております。
一人でも多くの方々にご賛同いただき、後援会への加入ご支援をお願い致します。
申し込み・お問合せは後援会事務局 電話 (3849) 1188まで